

**一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会**  
**プライマリ・ケア認定薬剤師研修会＋生涯学習委員会**  
**「家庭医療専門医と学ぶ総合力」**

**「ポリファーマシーを考える～事例検討と実践に役立つ知識～」**

**(東京 2016 年 9 月 22 日 木曜日・秋分の日)のご案内**

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第 109 分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構(CPC)から「特定領域」の認定制度としての認証(認証番号 P02)を取得いたしております。】

現在 19 番目の専門医として「総合診療医」が話題となっています。午前の研修は薬剤師も求められている総合力のうち「在宅ケア」「地域連携・チーム力」を家庭医療専門医とスモールグループ形式で学びます。

午後の研修は、医療界で注目が集まっているポリファーマシー問題について「ポリファーマシーを考える～事例検討と実践に役立つ知識～」を開催します。学会での生涯教育セミナー、薬剤師研修会そして学術大会での実績をもとに、実践している医師と薬剤師を講師にスモールグループ形式で学びます。

時代の求めるブラッシュアップにお勧めの研修会です。生涯学習委員会との共催で医師の単位付与もあります。  
 (細則による必須領域 A, D, G, I, J )

要 項		
1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア薬剤師認定制度委員会 + 生涯学習委員会
2	研修開催日	平成 28 年 9 月 22 日(木曜日・秋分の日)
3	研修会場	アーバンネット神田カンファレンス 2階2A 〒101-0047 東京都千代田区内神田三丁目 6 番 2 号 アーバンネット神田ビル 2 階 案内図 <a href="http://kanda-c.jp/access.html">http://kanda-c.jp/access.html</a>
4	認定単位	薬剤師:4単位(認定薬剤師単位)、医師:5単位(更新のための医師単位)を付与
5	受講資格	薬剤師、医師、医療職、医療関係者
6	定員	72名(スモールグループ形式)
7	受講申込	締切り:平成 28 年 9 月 9 日(金)午後 5 時 別紙の専用 FAX 申込書による先着順となり、定員になり次第締切ります。 電話、メールによる申込は受付けておりません。
8	受講振込	申込書を受信後、順次ご入金方法についてご案内させていただきます。 ※ 指定期日にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	11,000 円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は 9,000 円 ※ 受講票送付後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。
申し込み先 : プライマリ・ケア認定薬剤師短期集中研修会事務局 〒107-0062 東京都港区南青山 5-10-5-904 株式会社ヘルストラスト内 TEL(03)3409-4037 FAX(03)3409-4075		

※受講までの流れ FAX 送信申込 → 受講案内送付(振込) → 入金確認 → 受講票送付 → 受講票当日持参

# プログラム

2016年9月22日（木・秋分の日）

9:00～	受付（8:50分開場）
9:20～10:50	<p>① 「 家庭医療専門医と学ぶ総合力 —在宅ケア— 」</p> <p style="text-align: right;">講師：木村琢磨</p> <p>「在宅ケア」の臨床実践はプライマリ・ケアの理念と極めて親和性が高いと考えられます。「在宅ケア」では、病院・薬局・訪問などの役割をふまえたアプローチが求められます。当日は、「在宅ケア」とプライマリ・ケアにおける継続性・包括性・近接性・協調性・責任性について、受講者とともに考えます。</p> <p>（細則による必須領域：A, G, I, J）</p>
11:00～12:30	<p>② 「 家庭医療専門医と学ぶ総合力 —地域連携・チーム医療— 」</p> <p style="text-align: right;">講師：木村琢磨</p> <p>プライマリ・ケアの臨床において、地域連携、チーム医療、多職種連携（多職種協同）が不可欠な時代となっています。これには、同一の医療機関内のみならず施設間の連携、同一の専門職同士を超えた多くの専門職間の連携が必要です。さらに医療のみならず介護・福祉との連携が求められ、とくに地域では各々の職種を相互補完する意味合いもあります。当日は、これらの具体的な方法について、皆で議論し考えます。</p> <p>（細則による必須領域：A, G, I, J）</p>
12:30～13:20	昼食（各自でお取りください）
13:20～16:30 (休憩を含む)	<p>③④ ポリファーマシーを考える 「～事例検討と実践に役立つ知識」、 「～実践！ロールプレイ～」</p> <p style="text-align: right;">講師：矢吹拓、小林正樹、青島周一、八田重雄</p> <p>ポリファーマシー問題は昨今注目が集まっており、多くの薬剤師にとって取り組むべき課題のひとつです。同時に、医療が抱える多くの課題が濃縮されており、一筋縄ではいかないことを実感されていると思います。今回、現場で取組みを進めている医師・薬剤師を講師として、ポリファーマシーの実際に役立つ知識や薬剤エビデンスをご紹介しながら、事例検討やロールプレイを介して、どうやって問題意識をチーム間で、患者・医療者間で共有していくかを学んでいきます。主にグループワーク形式で楽しく学ぶ3時間になればうれしいです。皆様是非ご参加下さい。</p> <p>（細則による必須領域：A, D, I, J）</p>

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

**【講師紹介】**

(敬称略)

木村 琢磨 北里大学医学部総合診療医学・地域総合医療学、  
北里大学東病院 在宅・緩和支援センター

矢吹 拓 国立病院機構栃木医療センター 内科医長

小林正樹 国立病院機構栃木医療センター 内科医師

青島周一 中野病院 薬剤師

八田重雄 多摩ファミリークリニック 薬剤師